

# CROSS WORKSHOP

CROSSはデザインを活用したモノやコトを生み出す企業が増えることを目指して  
企業とクリエイターがつながるきっかけづくりを進める場です。

今回は2日間のワークショップを通して、取扱説明書に載っていないような  
イレギュラーな使い方から新たなアイデアを発想する手法を学びます。  
デザイン都市・神戸に、もっともっとすぐれたデザインがあふれますように。

2019年

**2月13日(水) 14日(木) 18:30~20:30**

**場 所**：デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO) 神戸市中央区小野浜町1-4

**対 象**：企業、クリエイター、その他デザインに関心がある方

**定 員**：24名(先着順)

**参加費**：無料(交流会参加の場合は別途会費が必要です。)

**備 考**：2日間連続講座・最終日の講座終了後に講師を交えた交流会開催予定(会費制・希望者のみ)

演習テーマ

## 想定外の使い方から導き出すアイデア発想

講師 向井 昌幸氏

神戸芸術工科大学 プロダクト・インテリアデザイン学科 教授

講師補助 時岡 佑太氏

トキオカデザイン 代表

問い合わせ：

神戸市経済観光局工業課デザイン担当 電話：078-322-5333

<https://design.city.kobe.lg.jp/project/cross/>



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

City of Design  
**KOBE**

Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008

# LECTURER

## 向井 昌幸 氏

神戸芸術工科大学 プロダクト・インテリアデザイン学科  
教授

パナソニック株式会社、同パナソニックデザイン社勤務を経て、  
2004年より神戸芸術工科大学に就任。  
専門はインターフェイスデザイン、インダストリアルデザイン。

## 時岡 佑太 氏

トキオカデザイン 代表

2008年神戸芸術工科大学プロダクトデザイン学科向井ゼミ卒。  
広告会社勤務等を経て、2018年より独立。  
専門はわかりやすく伝えるデザイン、ファンドレイジング。

演習テーマ

## 想定外の使い方から導き出すアイデア発想

私たちは普段からユーザーの立場で様々なモノを使用し、生活していますが、日々の暮らしの中でメーカー側が想定していない使い方やモノを使用した経験がある方もいるかと思います。多くのモノはそれに対応できる潜在能力を備えており、私たちユーザーはそうした能力を引き出す応用力を備えています。危険性さえ伴わなければ、そうした使い方が新たな製品や機能のアイデアにつながることも少なくありません。

今回のCROSSでは、「自身の経験やコツ」をポイントにした観察法により、モノのイレギュラーな使い方から導くアイデア発想法に取り組みます。



# EXERCISE



## 演習内容

### 「容器」の使い道を広げる

例えばプリクラは、街角の証明写真機に複数の人が入って撮影し分け合って記念写真にしていたことから発想されたとされています。

今回はコップや杓、ボウルやバケツなどさまざまな容器を題材として、アレンジして用いた自身の経験を抽出します。そこからもとも想定していなかった使い方や楽しみ方を導き、商品の新たな魅力として明確化することに取り組みます。

※講義終了後、個別のご相談・ご質問等にもお答えします。

申込方法： E-mailで①氏名、②フリガナ、③会社名等所属、④業種、⑤電話番号、⑥交流会の参加／不参加をご記入のうえ、件名を「CROSS12」として下記へご送付ください。

[kogyoka@office.city.kobe.lg.jp](mailto:kogyoka@office.city.kobe.lg.jp)

申込期限：2019年2月6日(水) ※応募多数でご参加いただけない場合はご連絡差し上げます。